

基調講演

新型コロナウイルス禍と学生のメンタルヘルス ＝コロナ禍を生きる時代に、私たちはどのように 学生にアプローチすべきか＝

新型コロナウイルスの感染者は今もなお増え続けています。感染症への不安や、教育現場でもオンライン授業によるストレスなどで、意欲の低下やメンタルヘルスの不調を訴える学生が増加しております。

コロナ禍と言われてから一年以上が経過しました。改めて教育現場の置かれた状況を見つめ直し、実態を整理して、よりよい学生へのアプローチ方法を探っていきます。メンタルヘルス不調者の早期発見、良好な人間関係の形成、コミュニケーション、つながりの喪失と再生に向けて今できること、しなければならないことを考えます。

講演概要

廣川進先生の専門領域は、産業メンタルヘルス、惨事ストレス、そしてキャリアカウンセリングです。

学校や企業での現場経験を踏まえた、〈問題提起〉とその〈背景説明〉、そして〈解説〉を通して「学生のメンタルヘルス」の必要性について理解を深めていきます。

- 〈問題提起〉 コロナ禍での学校現場では
- 〈背景説明〉 教育現場におけるメンタルヘルス不調の現状
- 〈解説〉 適切な予防と対応策。具体例や防止策等の提案
- 〈まとめとリフレクション〉

廣川進先生のプロフィール概要

法政大学 キャリアデザイン学部 教授（公認心理士・臨床心理士・文学博士）
1959年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、株式会社ベネッセホールディングスにて、雑誌編集（『ひよこクラブ』の創刊等）の傍ら、大正大学大学院臨床心理学専攻修士・博士課程を修了。人事部に異動後は衛生管理者としてヘルスケア部門を立ち上げる。2001年退社後、大正大学心理社会学部臨床心理学科教授を経て現職。他、海上保安庁（惨事ストレス対策アドバイザー）、国立国会図書館、千葉県庁（復職支援）、再就職支援会社、都内クリニック等で非常勤カウンセラーとして勤務を経験。職場の「メンタルヘルスとコミュニケーション」「リーダーシップとモチベーション」、「キャリアカウンセラー養成講座」などの研修講師も勤める。

〈主な著書〉

- ・「成人発達臨床心理学ハンドブック―個と関係性からライフサイクルを見る―」（岡本祐子編）ナカニシヤ出版
- ・「統合的心理臨床への招待」（村瀬嘉代子監修 共編著）ミネルヴァ書房
- ・「失業のキャリアカウンセリング 再就職支援の現場から」金剛出版